

エ 暮らしと交通

江戸時代は、三春を中心にいくつもの街道が通っていました。

人々は、この街道を利用して行き来をし、物資を輸送しました。

江戸時代は、参勤交代の通り道になりました。

小浜街道は「絹の道」といわれ、まゆや絹織物が運ばれました。

^{いわき}磐城街道を利用して海産物が運ばれてきました。相馬街道からは塩が運ばれてきたといわれています。

- 江戸街道——^{たかのす}鷹巣……^{さいとう}斎藤……赤沼……^{もりやま}守山……^{すゑがわ}須賀川……^{おうしゅう}奥州街道
……→江戸へ
- 会津街道——八幡町……三丁目……喜久田…→会津へ
- 磐城街道——^{らくうち}楽内……^{くぐりき}込木……芦沢…→磐城へ
- 相馬街道——要田……石沢……上移…→相馬へ
- 小浜街道——^{おまつり}御祭……小浜……二本松…→川俣へ
- 本宮街道——荒町……^{つちだな}高柴……土棚…→本宮へ

小浜街道、本宮街道からは奥州街道をへて仙台へつながっていました。

※ 三春町歴史民俗資料館

- はるかな三春コーナー
 - (3) 三春と秋田氏
- きのうの三春コーナー
 - (8) 三春と職人 (9) 農家の道具
 - (12) 蚕さまから生糸まで (13) 農家のいろりばた
 - (14) 帳場のようす